

■ ■ 共同研究・受託研究に関するアンケート調査結果 ■ ■

令和5年度に共同研究及び受託研究を実施した企業等を対象にアンケートを実施し、満足度を調査しました。その結果、全15社から貴重なご意見・ご要望をいただきました。調査内容及び調査結果は以下のとおりです。

《調査内容》

調査目的	中期業務計画(令和4～8年度)に基づき、共同研究及び受託研究利用企業の満足度等を調査し業務改善に役立てる。
調査対象	16テーマ(15社)
調査期間	令和6年5月7日～6月6日
調査方法	調査票をメール送付
調査票	選択式及び記述式, 9項目

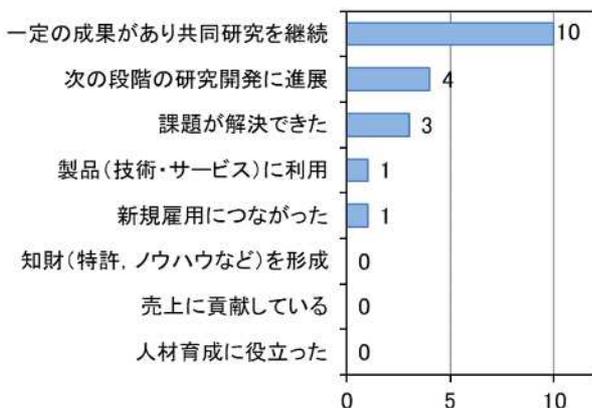
《調査結果》

Q1. 期待した成果が得られましたか



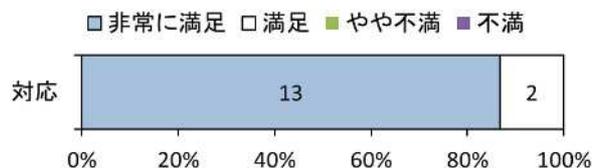
「得られた」、「ある程度得られた」との回答がほとんどでしたが、「得られなかった」という回答が1社ありました。この内容としては、実運用に適った研究には繋がらなかったというものでした。

Q2. どのような成果がありましたか(複数回答)



成果として、製品開発や実用化が進んだ、品質を確認できたなどの回答がありました。

Q3. センターの対応について



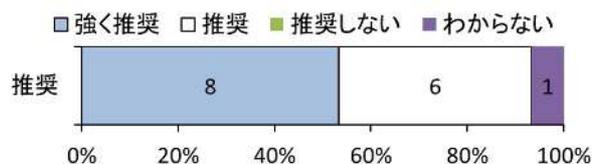
すべての企業が「非常に満足」、「満足」との回答でした。

Q4. 今後も実施したいと思いますか



半数以上が、今後も「積極的に実施したい」との回答でした。

Q5. センターの利用の推奨について



他の企業、事業者にもセンターの利用を推奨するかの問いに対しても、半数以上が推奨すると回答いただきました。

アンケート結果を参考に、利用企業の利便性の向上を図るとともに、今後も利用満足度100%を目指し、業務改善に努めてまいります。

当センターでは、今年度も共同研究及び受託研究を行っています。研究の実施にご興味のある方は、お気軽にお問い合わせください。

最後にアンケート調査にご協力いただきました企業の皆様に感謝いたします。

■ □ 特許登録「火山ガラス微粉末」 □ ■

県と東京大学と(株)プリンシプルが共同で特許出願した「火山ガラス微粉末」が、令和6年3月28日に特許登録されました(特許第7462128号)。

本発明は、コンクリート用混和材に用いられる火山噴出物由来の図1に示すような角張った粒子形状を有する火山ガラス微粉末VGP(Volcanic Glass Powder)に関するものです。

VGPの火山ガラス含有率は80~100質量%であり、SiO₂を67~75質量%、Al₂O₃を11~17質量%含みます。その特徴と用途を示します。

- ・ 平均粒径1.0~2.5μmであり、モルタルによる活性度指数が28日で105%以上のVGPは、シリカフェーム代替に利用できます。
- ・ 平均粒径2.5~3.5μmであり、モルタルによる活性度指数が28日で100%以上のVGPは、普通ポルトランドセメント代替に利用できます。
- ・ 平均粒径3.5~8.0μmであり、BET法の比表面積1~4m²/gのVGPは、フライアッシュⅡ種代替に利用できます。

これらのVGPは、火山噴出物のシラスからポゾラン反応性を有する火山ガラス質を分離し、それを粉砕することによって製造できます。これまで、シ

リカフェーム代替、セメントと同等の強度発現性、塩化物イオン浸透抵抗性など優れた特性が認められており、SDGsやCO₂排出量削減に資する混和材として期待されています。そこで、県では2024年度から開始したインフラ・建設GXプロジェクトにおいて、VGP等を用いた低炭素型コンクリートの普及を推進し、CO₂排出量削減とシラス産業振興を図ることとしています。

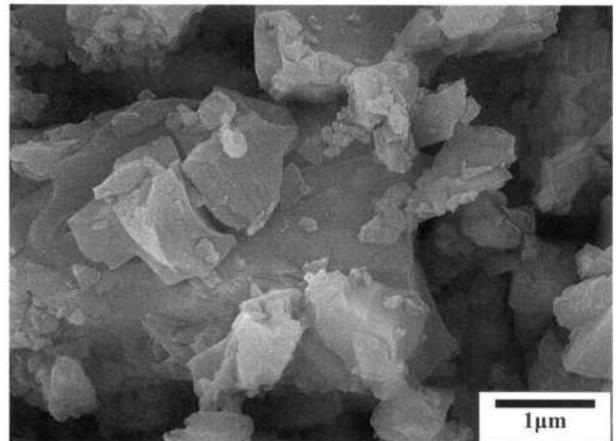


図1 火山ガラス微粉末VGPの電子顕微鏡写真

■ □ 取組事例報告会 □ ■

6月20日に県庁18階かごゆいテラスで「芋とは思えない!? 新たな香りの芋焼酎!」と題して、第5回となる取組事例報告会を開催しました。

大海酒造株式会社(鹿屋市)から、吟醸香を持つ芋焼酎「アップルランス」が商品化されました。従来の芋焼酎では吟醸香を感じることはほとんどありませんが、本製品は大海酒造株式会社が確立したもろみの低温発酵と工業技術センターによって開発された香りを高める製造技術との融合により、芋焼酎でありながら、リンゴや洋梨のような吟醸香を楽しむことができます。

県職員やかごゆいテラス利用者ら63名の参加があり、一般的な焼酎の香りと、「アップルランス」の香りの嗅ぎ比べを行うなど、焼酎の香りに興味を持っていただく良い機会となりました。

